I·O DATA

PDI-B912/AG 取扱説明書

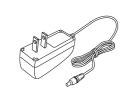
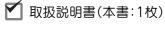
B-MANU200144-01

内容物と各部の名称

- □ 本体(1台)
- □ 充電専用ACアダプター(1個)
- □ 無線注意ラベル(1枚)
- □ アタッチメント(1個)
- ☑ 取扱説明書(本書:1枚)
- □ 保証書(1枚)
- □ アタッチメント取付用両面テープ(1枚)
- □ 粘着シート(試供品)(1個)

■ユーザー登録について

▼ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。※Aは英字、0は数字、aaは英数字となります。

●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
⇒ http://www.iodata.jp/regist/

使用するまでの準備

1 充電する

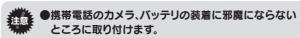
1 AC アダプター端子のキャップを外します。
※初めてご使用になる前には必ず充電を行ってください。
※充電後は、キャップをはめてください。

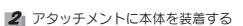
2 充電専用 AC アダプターを接続します。
※初めての充電は約5時間行ってください。
※充電中は青ランプが点灯し、充電完了すると消灯します。

2 本製品を携帯電話に装着

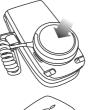
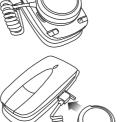
1 携帯電話にアタッチメントを取り付ける

❶ 本体のケーブルを接続したままアタッチメントの位置を確認します。

注意 ●携帯電話のカメラ、バッテリの装着に邪魔にならないところに取り付けます。

❷ 添付の両面テープで携帯電話に貼り付けます。

2 アタッチメントに本体を装着する

❶ 本体のくぼみとアタッチメントのつめの位置を合わせてはめます。

❷ 携帯電話のイヤホンマイク端子のカバーを開け、方向に注意して接続します。

注意 ●イヤホンマイク端子には方向があります。入りにくい場合には無理に差し込まず、イヤホンマイク端子の方向をご確認ください。

アタッチメントから取り外す

アタッチメントを携帯電話に取り付けた状態で本体を回転させると取り外せます。

3 携帯電話の設定の確認

1 携帯電話のマナーモードの設定確認

現在の携帯電話の設定がマナーモードになっていないか確認してください。

2 着信音量の設定確認

現在の携帯電話の着信音量がOFFになっていたり、小さすぎる設定になっていないかどうか確認してください。

4 Bluetooth機器との関連付け(ペアリング)

※この操作は、併用するBluetooth機器と通信するための初期設定となります。
※利用するごとに毎回設定する必要はありません。

1 ペアリングしたいヘッドセットをペアリング待受け状態にします。

例:PDI-B903/HSKの場合
電源の入っていない状態からボタンを(約7秒間)押し続けます。
途中でPDI-B903/HSKから音がなり、青ランプが点滅しますがそのまま押し続け、0.5秒間隔の点滅になったら手を離します。

2 本製品のペアリングボタンを7秒間押して青ランプが0.5秒ごとの点滅になったらボタンから手を離します。

本製品の青ランプの消灯したらペアリングが完了です。
例:PDI-B903/HSKの場合
5秒間に1回点滅しています。

使ってみよう

※併用されるヘッドセットなどの機器の取扱説明書もご確認ください。
※ここでは、弊社製品 PDI-B903/HSK との組み合わせにて案内しています。

1 接続する

【電源を入切する】

本製品には、電源スイッチはありません。
携帯電話との接続時に、携帯電話から着信音や通話音などの音声出力があると自動的に電源が入りペアリング済みのヘッドセットなどとの接続を開始します。また、携帯電話からの音声出力が45秒以上途切れると自動的に切断して電源が切られます。

1 接続する

❶ ペアリング済みのヘッドセットの電源を入れます。
❷ 本製品を携帯電話に接続します。
→携帯電話の着信音や通話音が検知されると本製品の電源が入り、直ちにペアリング済みのヘッドセットとBluetooth通信が行われます。
※接続完了には約3秒かかります。
接続が完了するとヘッドセットから着信音や通話音が聞こえます。
接続されている間は青ランプが1秒に1回点滅します。(バッテリ残量十分時)

2 電話をうける・掛ける・切る

1 電話をうける

電話が掛かってきた時に、ヘッドセットの操作にて受話することが可能です。
例:PDI-B903/HSKの場合
ボタンを約3秒間押し続けます。
なお、携帯電話側の操作でも受話することが可能です。

2 電話を掛ける

携帯電話を操作して発信操作を行ってください。
携帯電話側のボタン操作音や発信動作音によりヘッドセット等の機器とBluetooth通信が開始され通話ができます。

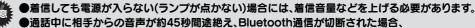
3 電話を切る

ヘッドセットの操作にて切ります。
例:PDI-B903/HSKの場合
ボタンを約3秒以上押し続けます。
なお、携帯電話側の操作でも終話することが可能です。

ボタン操作

PDI-B903/HSKの例

【切断】

通話終了後ボタン操作音や通話などの音声が途絶えた後、約45秒でBluetooth機器との接続を切断します。
(この間、携帯電話の機種によりノイズ音がすることがあります。)
組み合わせるBluetooth機器によっては切断される前に警告音などが発信されるものがあります。
例:PDI-B903/HSKの場合
切断10秒前に警告音がなります。

注意
●着信しても電源が入らない(ランプが点かない)場合には、着信音量などを上げる必要があります。
●通話中に相手からの音声が約45秒間途絶え、Bluetooth通信が切断された場合、すぐに音声が入っても再接続中のため、数秒間会話ができない状態になります。
●待受時にヘッドセットの操作を行うと携帯電話によっては発信などの動作になることがあります。
●マナーモードなどの着信音が出ない状態では本製品は動作いたしません。

【ランプの状態】

● 通常時

青ランプの状態	内容
3 秒に 1 回点滅	Bluetooth 機器を接続中
1 秒に 1 回点滅	Bluetooth 機器と接続済
4 秒に 1 回点滅	バッテリの残量わずか

● バッテリ残量確認

携帯電話と接続せずにペアリングボタンを2回連続で押します。
その直後のランプの表示でバッテリ残量が少ないかどうか確認できます。

ランプの状態	内容
5秒間点灯	バッテリ十分
4秒間に 2 回点滅	充電必要

困ったときには

ヘッドセットから音が出ない

原因1 ペアリングが完了していない。

対処1 ペアリング手順を確認して、再度お試しください。

対処2 ヘッドセット側のペアリング待受状態の間に本製品のペアリング動作をってください。
例:PDI-B903/HSKの場合
ボタンを7秒間押し続けてPDI-B903/HSKの青ランプが0.5秒間隔で点滅している間に本製品のペアリング作業を終える。

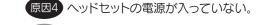
原因2 携帯電話のイヤホンマイク端子から着信音が出ていないか、音が小さい。

対処1 マナーモード等を解除して着信音が出る設定にしてください。

対処2 携帯電話の着信音量を大きくする.

原因3 充電されていない。

対処 本書「1.充電する.」を確認し、本製品の充電を行ってください。

原因4 ヘッドセットの電源が入っていない。

対処 電源を入れる。
例:PDI-B903/HSKの場合
ボタンを3秒間押し続けてください。

原因5 正しく装着されていない。

対処 携帯電話イヤホンマイク端子と本製品の端子には方向があります。
向きに注意してしっかりと差し込んでください。

電話がかかってきても着信ができない

原因1 ヘッドセットの電話を受ける手順を間違えた。

対処 ヘッドセットの取扱説明書をご覧になり、手順に間違いがないか確認してください。
例:PDI-B903/HSKの場合
着信音がなってからヘッドセットのボタンを3秒間押し続けます。

原因2 携帯電話のイヤホンマイク端子から着信音が出ていないか、音が小さい。

対処 マナーモードや着信音量が小さい場合は携帯電話のマナーモードを解除するか着信音を大きく設定してください。

仕様

一般仕様

コネクタ形状	平型コネクタ
通信方式	FH-SS （周波数ホッピング方式スペクトラム拡散）
変調方式	GFSK
対応プロファイル	GAP、SDAP、HSP
送信出力（最大）	+4dB(Power class 2)
受信感度（最小）	-75dBm
通信距離	10m(使用環境により異なります。)
電源	内蔵Li-ion電池を使用
連続待受時間	最大約110時間
連続通話時間	最大約4時間
外形寸法	41.00(W)x40.00(D)x14.00(H)(mm) ケーブル、アタッチメント含まず
質量	約17g
適合規格	TELEC、JATE、Bluetooth Specification Version 1.2

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■表示について

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を追う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠危険

分解禁止　本製品を分解したり、改造しないでください。
火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり､改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

禁止　**水・海水・醤油などで濡らさない**
電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止　**ストーブなどの熱源のそばに放置しない**
発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止　**火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしないでください**
高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。

厳守　**電池は当社指定の充電器を使用するか、当社指定の充電条件を守る**
その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧/大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止　**充電端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください**
感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

⚠警告

厳守　本製品を使用する場合は、本製品を接続する携帯電話のメーカーが指示している警告､注意表示を厳守し､正しい手順でお使いください。
警告･注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。本製品を接続する機器やそれの周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

発火注意　煙が出たり､変な臭いや音がしたら､すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

厳守　本製品の取り扱いは、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことに注意してください。
●接続ケーブルなどの部品は、添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
●接続するコネクターやケーブルを間違えると、コネクターやケーブルから発煙したり、火災の原因になります。

水ぬれ禁止　本体を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

ぬれ手禁止　ぬれた手で本製品を扱わないでください。
感電や本製品の故障の原因となります。

厳守　決められた電流内で使用してください。
出力電流の絶対最大定格を超えた電流で、本製品を使用すると火災・感電・故障の原因となります。

禁止　故障や異常のまま、通電しないでください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止　運転者は走行中に本製品を利用しないでください。
走行中に操作するとわき見運転になり、事故の原因となりますので、絶対におやめください。
使用するときは安全な場所に車を止めてから使用してください。
また､歩きながらの使用も事故の原因となりますので､おやめください。

厳守　充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止する
内蔵されている電池が発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

厳守　電池が漏液したり異臭がする時には直ちに火気より遠ざける
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

厳守　電池が漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

厳守　電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、こすらずに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれたりする原因となります。

禁止　火の中に投入したり、加熱しない
絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

厳守　**本製品は乳幼児の手の届くところに置かないでください**
不用意な取り扱いは危険を伴います。

厳守　**電子レンジや高圧容器に入れない**
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。

発火注意　**本製品の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、本製品を使用しないでください**
そのまま使用すると内蔵されている電池が発熱、破損、発火する原因となります。

厳守 / 感電注意 / 発火注意　**ACアダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください**
●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。
●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源コードをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因になることがあります。
●電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因になります。
●電源コードがACコンセントに接続されているときには、濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）
●本製品を長時間使用しない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。
ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
●火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしないでください。
高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。
●ACアダプタは本製品以外の他の用途には使用しないでください。
●コンセントや配線器具の定格を越える使い方はしないでください。
たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

⚠注意

禁止　本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所　●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石､ディスプレイ､スピーカー､ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
●静電気の影響の強い場所
≪使用時のみの制限≫
●保温･保湿性の高いものの近く（じゅうたん･スポンジ･ダンボール･発泡スチロールなど）
●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

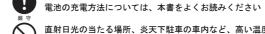
禁止　本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

厳守　ケーブルについて
●ケーブルは足などに引っかからないように、配線してください。
足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります
●熱機器のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。
●動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因になります。

厳守　本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止　本製品を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

禁止　本製品は日本国内仕様です。
本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また､弊社は本製品に関し､日本国外への技術サポート､およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

厳守　電池の充電方法については、本書をよくお読みください

禁止　直射日光の当たる場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しない
電池を漏液させる原因になるおそれがあります。

禁止　保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しない
危険防止のための保護機構が組み込まれています。保護機構がこわれ発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

厳守　**常温（20℃±5℃）で使用する**
低温下では使用時間が短くなります。低温下の使用では、電池の性能を十分発揮できません。できるだけ常温（20℃±5℃）でご使用ください。

禁止　**電池の充電温度範囲は次の通りです。この温度範囲以外での充電はしない**
電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。　充電：5℃～35℃

厳守　**充放電する**
長期間ご使用にならなかった電池は十分に充電されないことがあります。電池は長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充放電を行ってください。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

■以下の近くでは使用しないでください
●電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●IEEE802.11g/b無線LAN機器
上記の機器などは、Bluetooth® と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

■テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください
テレビ/ラジオなどは、Bluetooth® とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth® 製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth® 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

■良好な通信のために
●他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
●電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
●無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
●無線LAN機器との電波障害について……IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth　機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

■修理について
●本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。
●長時間（6時間以上）の充電はしない
●電池には寿命があります。
十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきた時は、電池の寿命です。使用状態によって異なりますが、約300回繰り返し充電ができます。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。
●電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
●当社では電池の交換は行っておりません。
充電してもご使用いただけない場合や連続通話時間が短くなった場合には、寿命と考えられますので、新しい製品をご購入ください。なお、電池寿命か故障かどうか不明な場合には、当社サポートセンターまでご相談ください。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

【連絡先】サポートセンター【電話】金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144

2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す
FH：変調方式を表す
1：想定される与干渉距離を表す（<=10m）
□□□：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不能であることを意味する。

ふろく

修理について

■修理の前に
故障かな？と思ったときは、
①本書【困ったときには】や弊社ホームページの製品 Q&A をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【お問い合わせ】をご覧ください）

故障と判断された場合は､右記内容を参照して､本製品をお送りください。

■修理について
本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・ お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

■修理品の依頼
本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアル NO. 、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
返送先［住所 / 氏名 / （あれば） FAX 番号］, 日中にご連絡できるお電話番号, ご使用環境（機器構成、OS など）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください
・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため､ご購入時の箱･梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒 920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

■修理品の返送
・修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

本製品を廃棄する場合の取り扱いについて

本製品には内蔵電池としてリチウムイオン充電池を使用しています。
リチウムイオン充電池はリサイクル可能な資源です。
本製品を廃棄する場合は分解せず、弊社修理センターにお問い合わせください。

【お問い合せ先】株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター
TEL.076-260-3617

本製品は絶対に分解しないでください
感電などの危険があるため、絶対に分解しないでください。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターにて受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。
サポート Web ページ内の「製品　Q&A、News」などもご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/　製品Q&A

2 それでも解決できない場合は下記へお問い合わせください。

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について
・製品名
・携帯電話機種
・トラブルの状態

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら､設備や機器､制御システムなどに本製品を使用され､本製品の故障により､人身事故､火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2005. FEB. 14